

そよう
今月の花 蘇葉

何かと食事に彩を添える紫蘇。赤しその方を蘇葉と呼び薬用として用いています。食欲増進の効果はどちらにもあります。

分類：シソ科
花色：白色～淡紫色
原産国：中国
開花時期：7～9月
花言葉：善良な家風



薬局通信

紫蘇は、中国の後漢末期の名医「華佗」が、食中毒を起こした人を紫の葉をしたシソを使って治療し蘇らせた事から名付けられました。蘇葉が含まれる漢方薬は、半夏厚朴湯・柴朴湯・神秘湯・香蘇散などです。

仕事しろ
人に言わずに
自分でしろ
by やまっち

56号



☆2ページ目では・・・豆知識をご紹介します。

🍯 お問い合わせはこちらまで 🍯

🏠 佐世保記念病院・・・薬剤科 ☎ 0956-28-111

喜びの樹は命の木



中国原産のヌマミズキ科カンレンボクは、強い生命力と多くの実をつけることから、子孫繁栄にたとえられる喜びの木として喜樹（キジュ）と呼ばれています。従来、庭木、街路樹や加工材として用いられてきましたが、抗ガン効果が知られたことから、「cancer tree」「tree of life」「happy tree」などとも呼ばれます。1966年頃、米国においてカンレン

ボクからカンプトテシンという抗腫瘍成分が見出されました。カンプトテシンには、DNAを1本切断する働きのあるI型トポイソメラーゼという酵素を阻害して細胞分裂を抑制するという特異的な作用があります。その結果、癌細胞のように活発に細胞分裂をおこす細胞は、アポトーシス（細胞の自殺死）を起こし死滅します。

しかし、正常細胞にもダメージを与えることから骨髄抑制など強い副作用が現れます。米国では、カンプトテシンの強い毒性と水に対して難溶性であることから抗癌剤の開発を断念しました。しかし日本の企業「ヤクルト」がカンプトシンの構造をもとにイリノテカンという抗癌剤を開発しました。イリノテカンは国内では、肺がん、大腸がん、婦人科系のガンに適応され、また海外では、大腸ガンの第一選択薬として使用されています。



秋分の日はいっつ？

秋分の日とは国民の祝日で「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日と定められています。またこの日は、「お彼岸」の中日にあたります。

秋分の日は、毎年日にちが変わりますが、例年、だいたい9月22日から24日ごろになります。

秋分の日は、昼と夜の長さがちょうど一緒くらいになる日です。この日から、昼の長さが少しずつ短くなって季節が変化していきます。

秋分の日、太陽が真東からのぼり真西に沈みます。そのため、お彼岸は、ご先祖さまがいる「彼岸」と私たちが生きている「此岸（しがん）」の距離が最も近くなり、ご先祖さまと私たちが通じやすい日と考えられ、ご先祖さまを供養する日でもあるそうです。

今年のお彼岸は、ご先祖さまに会いにお墓参りに行かれてはいかがでしょうか。